



第2回 高・低気圧ワークショップ

開催日時：2019年12月16日-17日

開催場所：京都大学白浜海象観測所

プログラム

12月16日(月)

13:25-13:30 趣旨説明と会場案内

13:30-13:50 辻宏樹（東京大学大気海洋研究所）

- ・ GPM 主衛星観測データを用いた北半球冬季温帯低気圧の降水と加熱分布の統計調査

13:50-14:10 秋山静佳（京都大学大学院理学研究科）

- ・衛星搭載降水レーダを用いた温帯低気圧に伴う強い降雪帯の解析

14:10-14:30 入江健太（東京学芸大学大学院）

- ・ 台風の温帯低気圧化と寒冷渦の相互作用について—台風 1610 の事例—

14:30-14:50 藤原圭太（九州大学大学院地球惑星科学専攻）

- ・ 北米東海岸の極端降水に対する温低化時の Sandy(2012)の気流構造とメキシコ湾流の役割

14:50-15:10 柳瀬亘（気象研究所）

- ・ 中緯度プロセスの影響を受けた台風の構造

15:10-15:30 休憩

15:30-15:50 石山尊浩（東京大学大気海洋研究所）

- ・ 2018年7月における三大洋の海面水温と台風発生環境場の関係

15:50-16:10 山本晃立（東京大学大気海洋研究所）

- ・ 偏西風の蛇行から切離された擾乱における極性由来の運動の特徴

16:10-16:30 松田地平（九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻）
・ 2018 年猛暑時の中国・四国地方における熱的低気圧と局地循環

16:30-16:50 春日悟（新潟大学大学院）
・ 寒冷渦・トラフを連続的に補足する新客観的強度指標の提唱

16:50-17:10 門前由喜子（東京学芸大学大学院気象学研究室）
・ 日本付近を通過する爆弾低気圧の経路による前線構造の違い

17:10-17:30 栃本英伍（東京大学大気海洋研究所）
・ 日本付近に特徴的な温帯低気圧構造と竜巻の環境場

20:00～ 懇親会

12月17日（火）

09:30-09:50 山下陽介（JAMSTEC）
・ 春先の発達した低気圧に伴う成層圏から対流圏への物質輸送の水平解像度依存性

09:50-10:10 吉田聡（京都大学 防災研究所 白浜海象観測所）
・ 北太平洋冬季低気圧活動の長期変化

10:10-10:30 菅野湧貴（名古屋大学 宇宙地球環境研究所）
・ 北米の寒気流出と総観場の関係

10:30-10:50 雨宮新（理化学研究所 計算科学研究センター データ同化研究チーム）
・ アジアモンスーン高気圧(チベット高気圧)の形成と季節内変動の力学

10:50-11:10 山崎哲（JAMSTEC）
・ 観測インパクト診断ツール EFSO の利用と観測インパクトの北半球伝播メカニズムの理解

11:10-11:30 休憩

11:30-11:50 平田英隆（立正大学 地球環境科学部）

- ・日本付近に暴風をもたらす温帯低気圧の理解に向けて

11:50-12:10 小玉知央 (JAMSTEC) web 参加？

- ・温帯低気圧に伴う降水の将来予測

12:10-12:30 総合討論